

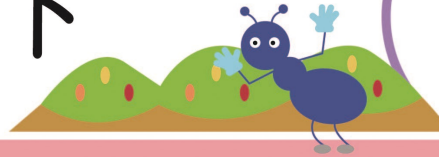
はつらつレポート

〒192-0066 東京都八王子市本町 3-4TRYビル3F
TEL：042-623-8802 FAX：042-627-4507

Email: hachioji-net@nifty.com
HP: http://hachioji.seikatusha.net/

生活者ネットワーク 3つのルール

- 1 議員は2期8年でローテーション
- 2 議員報酬は市民の政治活動資金に
- 3 選挙はカンパとボランティアで



東側デッキ延伸が行われ、130mのマルベリーブリッジの延伸計画に再び数十億円!?市民の意見を聞きました。

**約半分は高齢者
国民健康保険税が値
上げの一途**

現市長は、国民健康保険税を2年ごとに見直しすると決めています。高齢化に伴って医療費が膨れ上がっている国民健康保険の会計。見直しに値上げされ、加入者に負担を強いています。しかし加入者の多くは高齢者や低所得者。70代以上では82%が国保加入です。保険税が払えなくて、病院に行けない人も。市民への負担は限界です。

延伸計画を説明してアンケートをとる



今後予定されている市の大型事業(*)

- ・新館清掃工場建設
 - ・戸吹清掃工場延命化工事
 - ・医療刑務所跡地の活用
 - ・旭町神明町再開発
 - ・北西部幹線道路
- ...etc

**こんな大盤振る舞いで大丈夫?
2016年度、八王子市の予算**

石森市長2期目の就任後、初めての予算案は昨年引き続き総額4098億円という過去最大規模になりました。大事なはその使い道です。特に、「八王子駅前のマルベリーブリッジ延伸工事」「市長、議員の報酬」「国民健康保険税の値上げ」等は問題です。

**人口減少に突入
まだまだ控えている
大型事業**

八王子市の人口は既に減少に転じ、高齢化もますます加速する時代。今後予定されている大型事業はまだ沢山あります。(*
一覽表参照) 来年は市政100周

で約13億円かかりました。今度は西側、東急スクエアの方に延伸を行い、駅前広場を取り囲むような形で350m×400mほど延伸される計画で、数十億の費用がかかる予測されます。そこで生活者ネットワークでは、駅前を利用する方にアンケートを実施しました。「そんなお金があるなら福祉に使ってほしい」「優先順位が違うのでは?」「中途半端を広げるようなもの」等、市民の率直な意見が集まりました。

活動トピックス



2/10 「福祉チームまち歩き調査」



2/27 平和人権部会 「憲法サロン」@馬天使



4/8 はつらつタイム@カフェりぼん

はつらつ4コマ

作：なるみゆり
「被災地を想って...」



はつらつタイム

6月30日(木)
14:00~16:00
場所: カフェこすもす
八王子市片倉町 440-15
JR片倉駅徒歩3分、
京王片倉駅徒歩5分

なるみゆり、前田よし子と話そう

お申し込み・お問い合わせ先 八王子・生活者ネットワーク
TEL: 042-623-8802 FAX: 042-627-4507



連絡先 042-623-8802
八王子・生活者ネットワーク

大河原まさこと勝手に連帯する @八王子 発足!

「応援方法はいろいろ」フェイスブックに「いいね」する、勝手に連帯して支持を広げる、公選ハガキを書く、講演会にカンパする、チラシまきや事務所での作業のお手伝いなど。気軽にご連絡ください!

2016年参議院議員選挙
大河原まさことさん(全国比例代表)を再び国政に!

止まっていた原発は、安倍政権下で次々に再稼働となり、再生可能エネルギーの拡大は後退し、社会保障制度は自己責任地域の自助・共助優先へと方向転換しています。

大河原まさことさんは、このまま格差の固定化や貧困の連鎖に手をこまねいていることなく、今こそ一人一人を大切にすることを、共に生きる社会づくりを進めるために、すべての場において「人への投資」が重要だと訴えています。「強者がより強くなる政治」から「市民社会を強くする政治」への転換をめざして、地域で活動する市民の声を国会に届けるため、地域政治と国政のつなぎ役になる、大河原まさことさんを、生活者ネットワークは全力で応援します。

18歳選挙権も実施されるこの夏の参議院選挙こそ、日本の将来を決定づける重要な選挙です。まさに「市民の力で民主主義をつくる」今がその時です。

八王子市議会報告 （一般質問・予算総括質疑）

生活者ネットワーク・社会民主党・市民自治の会 議会報告



前田よし子

投票率アップを目指して 主権者教育について

Q 公職選挙法改正（共通投票所設置、期日前投票時間延長）についての、本市の対応は？

A 共通投票所の設置については、二重投票防止のため、すべての投票所のオンライン化を実施しなければならず課題が大きい。期日前投票時間延長については、メリットがあると認識している。

Q 立候補予定者同士が政策について論じあう公開討論会について。ここ最近他市で行われている公開討論会、インターネット配信により、一層意義が高まっている。効果や今後の方向性は？

A 告示前に市民団体等が自主的に公開討論会を開催することは可能であるので、積極的に開催され有権者が立候補者についての知識を得ることは重要。

オリンピック・パラリンピック教育について

Q 東京都の全小中学校はオリンピック・パラリンピック推進校に指定されている。オリンピック・パラリンピック教育で育む資質として、ボランティアアミインドや豊かな国際感覚がうたわれているが、真の国際理解のために、自分の意見を持ち他者の声を聞くコミュニケーションに必要な教育を

行っているか。

A 思考力、判断力、表現力を育む教育活動を展開している。体験的な学習などを重視して、自主的・自発的な学習になるよう取り組んでいる。

★今年度より、オリンピック・パラリンピック教育の副読本（小学校4～6年生対象、中学生対象）が配られる。公の教育に取り上げられる意義に疑問。静かな強制力、刷り込みにならないか懸念がある。個人の意見や立場の違いを大切にしたい。多面的重層的な教育となるよう要望した。

「予算総括質疑」 借入金管理特別会計創設について

Q 2016年から2020年の5ケ年に事業費が10億円以上かかる大型事業が集中しているが、市債を大きくせざるを得ないのである。返す以上に借れないが守れなくなるのでは？

市長 今八王子駅周辺の事業を進めることがより経済効果高め、将来の安定した税収確保にも寄与すると考えている。

Q 先を見据えた視点で若い世代に負担のかけられない事業の選択が必要では？

市長 50年100年先を見据えた中で計画的に事業展開している。できるだけ計画に沿って事業を進めてゆきたい。

★市債と公債費について、今後、本当に返す以上に借れないが守れるのか、疑問である。

セーフティネット支援 対策実施推進について

★住まいがない方が一時的に入る無料低額宿泊所から、アパートや老人施設など次なる住居へつなぐ方法として、生活支援、就労支援を行う事業等の成果を問ひ、こういったプログラムにかかっていない200人強の方に対応するケースワーカーの配置や適正な指導を求めた。昨年末に立ち上がった居住支援協議会での福祉と住宅の施策連携が機能してゆくための仕組み作りを求めた。

その他、国民健康保険事業特別会計、地域医療体制整備（口腔保健、摂食嚥下）についての取り組み、高尾山応援基金、高尾599ミュージアムについて質問しました。



なるみゆり

ちよつと待った！ マルベリーブリッジ延伸

八王子駅北口を出て二階からバス停につながるマルベリーブリッジ。2014年に京王プラザ前まで延伸し、約13億円かかりました。今度はさらに西側に延伸、本当に必要なのでしょうか。

Q 東側に延伸した後、インフォメーションセンターの利用者が約半数に減っている。またさらに延伸すればその影響があるのでは？

A 利用が減ったのはブリッジ開通後、インフォメーションセンターに誘導する看板が不足していた為。また、公共施設や観光施設の案内版の整備によって、行く必要がなくなったと認識している。

Q 他にも駅前課題があるのにデッキの延伸が先行して進められている。なぜ今必要なのか？

市長 産業交流拠点などと、駅周辺整備が相乗効果をもって八王子

の魅力高め、経済効果を高めたいと考える。

Q 西側の延伸で空を覆い隠したら、薄暗い駅前になってしまうのではないかと。開かれたユーロード玄関口が狭くなる。地上面の魅力をどのように考えているのか。

A 北口整備はマルベリーブリッジだけでなく駅前広場と一体的なもの。2016年度に駅前広場の基本計画を策定していく。

Q 今後控えている大型事業が沢山ある。優先順位を誤ってはいけない。せめて医療刑務所跡地活用の全体事業費が見えてからでも遅くない。急ぐ必要はないのでは？

市長 とにかく変化させていくこと。まちは変化させるためにも大変重要な施策だと考える。

市長給料、議員報酬の増額！

2015年の2月から7回にわたり報酬審議会が開かれ、特別職の報酬等の額について答申が出されました。市長は一万円アップの月11万円、議員は2万円アップの月61万円です。

Q この報酬改定の根拠は？

A 特別職の職務及び中核市や類似都市との均衡等を考慮して総合的に判断した結果の答申。

Q 中核市に移行したことで公務が増えたのか、客観的データはあるのか。

A 中核市になり、議員はより専門的な知識や高度な識見が求められることから、職務が多くなったと判断して答申が出された。市長についても、責務及び困難度が増しているという判断がされた。

市民は中核市移行によるメリットをなかなか実感できず、消費税増税や物価上昇によって実質賃金も下がっている。そんな中、市長の給料や議員報酬アップは、納得できるものではありません。

多摩都市モノレール・八王子ルート延伸は本当に必要か？

今年1月、石森市長は次世代型路面電車（LRT）の市単独整備を検討すると記者会見で明らかにした。都は昨年7月、モノレールの延伸計画のうち、八王子ルートは「優先的に整備すべき路線」では「検討すべき路線」に位置付けた。モノレール延伸の早期実現が難しいことから、国への要望を続ける一方、市単独でそのルート上にLRTを通すことも視野に入れ、両にらみで市中心部とニュータウン地域のアクセス向上をめざすという。

2016年3月に決定した都市計画道路の第四次事業化路線として、「八王子3・4・8号線」がはじめてあげられた。国道16号「鎌水」のT字路を西へ、横浜線のトンネル上を通り、造形大学構内を通り、みなみ野外周道路へつなげる1310mの計画である。この道路はモノレール八王子ルートの一部となる。地球規模の環境保護が話し合われる一方で、一度作られた道路の計画は消えることなく、素直に進んでしまおう現実に大きな疑問を感じる。かつて農家さんたちの力で、現在肥沃な農地が残る小比企の土地に道路を貫通させる計画を中止に追い込んだ過去に学び、未来のために声をあげていく。（前田よし子）

市民の視点で調べた、高齢者の住まい

「介護の社会化を進める一万人市民委員会in八王子」は、誰もが人間らしい生活ができ、充分な介護が受けられることを目的として活動している市民団体です。介護保険制度が発足し、3年毎の改正時は行政に市民・利用者としての意見交換や提言を行ってきました。また、利用者が介護保険制度を主体的に選べるように情報提供活動も行ってきました。2000年に「八王子の特別養護老人ホーム訪問調査の結果を、2004年は「高齢者が利用できる便利なサービス」として、2008年「有料老人ホームの調査」を刊行してきました。

今回は、増えつつあるサービス付き高齢者向け住宅の訪問調査を行いました。サービス付き高齢者向け住宅は国土交通省の制度です。他の老人ホームと何が違うのか、費用はいくら必要なのか、終の住みかになるのかなど、安全・安心について等、いろいろの思いや疑問をもち暮らしの視線を大切にしながらの

介護の社会化を進める一万人市民委員会（大貫春美）



サービス付き（入居者）高齢者向け住宅と高齢者の住まい